



DNW-26031 の概要

課題名 : 未分化・高悪性度腫瘍を標的とした新規がん因子の検証

主任研究者 (Principal Investigator) :

喜多 加納子 (国立大学法人熊本大学大学院生命科学研究部)

ステージ: 検証ステージ I

【標的疾患】

小細胞肺がんなど

【創薬標的】

新規標的因子 X

【創薬コンセプト】

新規標的因子 X を阻害することにより活性化した MYC の機能を障害し、がん細胞の増殖抑制、細胞死を誘導する。

【モダリティの設定】

核酸又は低分子化合物

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) PI の見出した標的因子 X はがん細胞に未分化性、神経性をもたらす。
- 2) 標的因子 X の阻害により、がん細胞の増殖が抑制される。特に MYC の活性の亢進したがんで顕著な作用がみられる。
- 3) がん幹細胞様細胞が標的となっている可能性がある。

【科学的、技術的な優位性】

標的因子 X は PI が網羅的な検証を通じ見出した信頼性の高いものである。標的因子 X の阻害が特定のがん細胞に強い増殖抑制を示すことを明らかにしている。がん幹細胞様細胞に作用する可能性がある。

【支援ステージにおける目標】

抗がん剤の標的分子としての妥当性を明確にする。作用機序をより明確にし、阻害剤の

有効な患者選定につながるマーカーを見出す。

【関連特許】

なし

テーマに関するお問い合わせは下記までお寄せください。

Principal investigator へのお問い合わせはご遠慮くださるようお願いいたします。

(問合せ先)

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 創薬事業部

E-mail : id3desk@amed.go.jp